

# ヤエヤママドボタルの拡散にご注意ください



原産地以外のヤエヤママドボタルは  
沖縄県希少野生動植物保護条例の指定外来種です。

## ヤエヤママドボタル



別名：オオシママドボタル  
学名： *Pyrocoelia atripennis*

### 幼虫

出現：周年  
エサ：カタツムリの仲間  
特徴：樹林地ちかくの草地、畑、公園などに生息し、夜間に地上や樹上で発光しながら活動します。日中は石や落ち葉の下などに潜んでいます。

### 成虫

出現：秋～冬（おもに11、12月）  
エサ：餌を食べません。  
特徴：終日活動し、メスは飛ばません。オス・メスともに発光します。

沖縄島のヤエヤママドボタルは、八重山諸島から人為的に持ち込まれた外来種です。



オキナワヤマタカマイマイ（固有種）\*を捕食する幼虫  
\*県指定希少野生動植物種  
・絶滅危惧Ⅰ類

世界自然遺産地域への  
分布拡大を防ぐ！

沖縄島中・北部へ分布を拡大

希少なカタツムリ  
が減少



集団でカタツムリを襲う幼虫

本来の生息場所（原産地）は  
八重山諸島の島々です。



成虫（メス）



成虫（オス）



幼虫

## 危惧される影響について

沖縄島に生息する希少なカタツムリの仲間を絶滅させてしまうかもしれません。



これ以上の分布拡大を  
止めないと！

堀取った植木や積まれた資材などに  
幼虫が紛れていませんか？

## 幼虫の見分け方

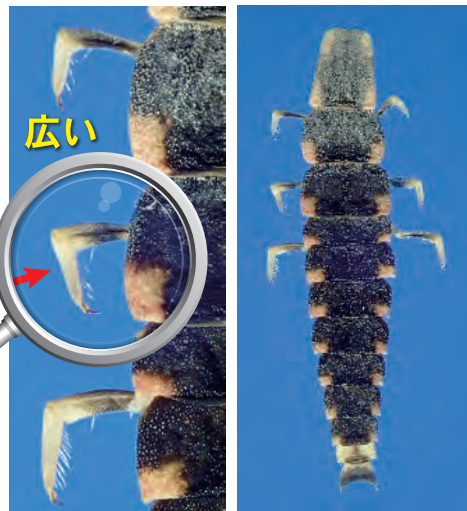
沖縄島には、幼虫がよく似たオキナワマドボタルが生息していますが、足先の白い部分の範囲が違うので区別できます。

十分に育った幼虫は巨大（6 cm以上）



ヤエヤママドボタル（外来種）

大きくならない



オキナワマドボタル（在来種）

白い部分の  
範囲が違います

## 沖縄島内の侵入状況

2000年頃に沖縄島南部に侵入し、その後、中・北部地域へ分布を拡大しています。今後、北部（やんばる）への侵入が心配されています。

2003年



2017年

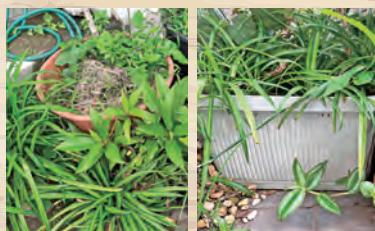


2021年



## ご協力をお願いします！

ヤエヤママドボタルの幼虫は、林、草地、畑、圃場、公園、資材置場などにすんでいて、一年中活動しています。植木や農作物、資材を移動する際には、幼虫が紛れていないか注意してください。ヤエヤママドボタルが広がらないようにご協力をお願いします。



植木鉢やプランターなどに潜んでいる可能性がありますので、遠くへ移動する際には確認して下さい。

一般の方・造園業



根巻き樹木の移動時は幼虫が混入していないか確認して下さい。

造園業



野ざらしの資材の移動時は幼虫が混入していないか確認して下さい。

工事関係



特に、林に隣接した圃場や資材置き場などでは、植物や資材を移動させる際には注意して下さい

外来生物を増やさないために、「野生の生き物を移動させない」「飼っている生き物は逃がさない」を守りましょう！

沖縄県条例では、指定希外来種は全9種が指定されています  
詳しくは下記Webページまたはパンフレットをご確認ください



本条例に関するお問い合わせ

沖縄県 環境部 自然保護課

TEL 098-866-2243 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

指定種について詳しくはこちら <https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/shiteisyu.html>



発行者：沖縄県環境部自然保護課

監修・データ協力・写真：佐々木健志（琉球大学博物館（風樹館））、データ協力：久保田康裕（琉球大学） 写真提供：西山桂一

編集：（株）沖縄環境保全研究所・文進印刷（株）

2022年（令和4年）2月発行